

総務環境委員会・請願審査（２０２０年６月１５日）

請願第７号「台湾の世界保健機関年次総会へのオブザーバー参加等の支持に関する意見書提出を求める件」

◆ 請願項目

「台湾の世界保健機関及び年次総会へのオブザーバー参加を支持し、これに協力すること」を内容とする意見書を国会及び政府に提出することを求める。

◆ 紹介議員

自民党２１人、民主９人、公明党３人

◆ 請願への態度

採択を求める。

◆ 委員会での意見表明

日本共産党は、WHOへの台湾のオブザーバー参加は当然であると考えます。

２００９～１６年のWHO総会には台湾もオブザーバー参加しています。ところが、中国は、台湾が現政権に代わって以降、「一つの中国」との立場を明確に認めていないことなどを理由に、オブザーバー参加に反対し、先月の総会では参加が見送られました。しかし、感染症対策は世界的な課題であり、地理的な空白があってはなりません。また、迅速な対策で感染を封じ込めた台湾の経験を、国際社会が共有するうえでも、オブザーバー参加は有益であると考えます。

WHO憲章は前文で、「最高水準の健康を享有することは、人種、宗教、政治的信念または経済的もしくは社会的条件の差別なしに万人の有する基本的権利の一つである」「すべての人民の健康は、平和と安全を達成する基礎であり、個人と国家の完全な協力に依存する」と述べています。この精神からみれば、台湾のオブザーバー参加は当然のことです。

以上から、本請願の採択を求めます。